

東京土木出張所を觀て

左右田 友三郎

内務省の土木出張所は昭和六年初め失業者救済を目的とする國道改良工事を起興する事となり、多くの地方職員も之が實施に参加した。私も其の内の一人で、東京土木出張所に一ヶ年餘勤務した。其の間の所感の一部を述べる事は必ずしも徒爾でないと信ずる。

失業者救済を目的とする國道改良工事を、國直轄にて施行するといふ具體的な案が決定した當時、一般の道路關係者間に、尠なからず其の成否を懸念されたのは事實である。

之れは内務省の土木出張所が、從來専ら河川港灣事業に携つて居て、道路事業に經驗が薄いといふ理由ではなかつた。斯くの如き大規模な道路事業が一ヶ年を出でざる短期

間に、而も失業者救済といふ不利な條件のもとに、果して遂行し得るか否か、從來の考へ方で想像する時は、餘程困難な事であるといふ理由であつた。

然るに一ヶ年後の今日豫期の如く事業を完成し、失業者救済の實績を徹底的に擧げ、綽々として餘裕あるに至つては敬服の外はない。

土木出張所が一方從來の河川事業の執行にあたりつゝ如何にして斯くも見事な結末を付け得られたかは、誰しも知らむと欲する事であらう。

之れは土木出張所が、直轄工事に馴れて居たからではない、機械器具が澤山取揃へてあつたからでもない、地方的關係が少く比較的仕事が仕易かつたからでもない、内務省

といふ力強い背景があつたからでもない、勿論之れ等も一部の理由と考へられぬ事もないが、根本の理由は斷じてかゝる卑近なものではないと信ずる。

根本の理由は之れ等を運用する土木出張所員の力が強かつたからであつたと確信する。

土木出張所員の所謂合成力量が如何に強大であるかといふ事は、外部に居ての觀察では計り知る事は六ヶ敷いと思ふ。幸に私は此の雰圍氣の裡に一ヶ年餘を勤務して、精神的に又事務的に啓發せられた事多大であつて、深く感謝の意を表するものである。

私と同じ境遇に在つた人達も、必ずや同じ感想を懐かるゝ事と信ずる。

土木出張所は日本土木技術の中心ともいふべく、府縣に於ける土木事業の指導機關であらねばならぬ。幸に今度の機會に於て、多くの地方職員をして詳に土木出張所の内部を觀察せしめた事は、色々の意味に於て府縣の土木界に多大の効果を齎らす事と信ずる、之は失業者救濟事業の一餘

得であつたに違ひない。

日本の道路界は過去十數年の間に多大の進歩を見た、然し若し十數年以前に於て、土木出張所をして道路事業に關與せしめて居たならば、今日の吾が國の道路技術はより堅實な進歩を遂げたであらう事を確く信ずる者である。

土木出張所の合成力量が何故斯程強大であるか、土木出張所が何故斯程まで優越せる能力を保持するか。

之れは吾々が興味を以て檢討しなければならぬ問題であると信ずる。

土木出張所を概観すると、嶄然たる中心があつて、之れを圍繞する者工夫に至るまで、其の所内の人を擧げて一貫した精神的色彩を以て完全に統一せられて居る。

之れを私は出張所魂と稱する。

今時の錯綜せる世相に在つて、斯かる整然たる氣風の存在は、確に異數の形態である。

出張所に於ける大小の事物は悉くこの魂を打ち込で成さるゝのである。

この魂こそ土木出張所に底力があり、總てに優越せる所
以であつて、皇軍の精銳なのは大和魂に據るのと好一對
あると信ずる。

凡そ人の精神の指導を等閑にして徒に組織を改め、制度
改廢によつて能率の増進を期待するは、末を追ふて本を省
ないものであらねばならぬ。

土木出張所内は上下を擧げて、之の精神の涵養に不斷の
努力が續けられて居る。

土木出張が如何にしてこの魂を養成したか、考へを進め
て之を究はめねばならぬ。

私は之れを愛の力なりと斷ずるものである。

土木出張所ではこの魂を養成せむが爲に、幾多の精神的
並に物質的努力が拂はれて居るが、これ等を一々検討す
る時は、夫れ等の究竟の目的は、所員をして抱愛の中に在
らしむるにある事を窺ひ知る事が出来る。

日々の事物は悉く愛の精神を根源として爲されざるはな
5。

愛に磨き、愛に熔け、茲に一つの精神が成り、魂が出来
上る。

例へば魂を打ち込んで爲された人選は優秀な人材を採用
する結果となり、魂を打ち込んでなされた所員の配置は、
適材適所に成功し、魂を打ち込んで事にあたる結果人々の
心境は進んでやまず、事物は總て合理的に運行せられ、能
率はいやが上に擧げられ、申分なく仕事は完成する事とな
る。

私の關係した國道改良事務所は所員が二十餘名であつ
た、私は之れ等の人々が残らず失々の任務に應じて、よく
熟達した人材であつて、其の職務に對する態度の美しいの
を觀て、尠ならず敬服せざるを得なかつたと同時に、土
木出張所に於ける平素の薰陶の効と、出張所魂の偉力に驚
嘆した次第である。